

# WADAIKO 遙 TOKARA

2013年 5月

## TOKARA 公演情報

- ・6月17~29日:伊那谷和太鼓コース グランドツアー、長野県阿智村
- ・6月29日 (土): 幸い下伊那和太鼓フェスティバル、長野県飯田市
- ・8月1~26日: 風越~スコットランド エディンバラフリンジ祭,  
会場 C too Mainhouse, Edinburgh

## 爆進するTOKARA！！ ～マグロは一生止まらない～

5月、世間はゴールデンウィークに賑わう中、私達は日本へと向かう飛行機に乗っていました。1月から4月にかけてアメリカとカナダを爆進した私達は、その勢いを緩める事なく、次の目的地へと向かいます。



イギリスの町並みは美しいですね。日本へと帰国した次の日は、和歌山を拠点に活動されている「森久美子フラメンコ舞踊団」が東京で開催する『AMATERASU』に、友情出演させていただきました。AMATERASUは日本の神話[天の岩戸開き]を題材に、森久美子先生により構成されたコンサートです。今回のコンサート友情出演は、昨年スペインで同舞踊団にお会いしたのがきっかけでした。スペインバレンシアで開かれたジャパンウィークで、この『AMATERASU』で共演させていただきました。今回の東京でのステージは凱旋公演なのです。この森久美子先生が率いる舞踊団の皆さんのフラメンコ、全身を使った流れるような動きもあれば、指先の細かい動きまであり、私は見とれて声も出ませんでした。お会い出来て光栄です。有難うございました。

東京公演を終えた私達は、荷物をまとめ、今度はイギリスツアーへと向かいます！

4日間滞在した日本を離れ、一同は飛行機に乗りイギリスのロンドンへ。これは私の感想ですが、イギリスは家や教会などのデザインがとても美しく、街並みを眺めているだけでも、とても心が癒されます。勿論日本の浅草や京都の風情ある景観も好きではありますが「教会から鐘の音が鳴り響き、鳩が空へ羽ばたいて行く。」といった、まるで映画のような情景を目の当たりにすると、外国の文化に直接触れている事を深く感じられます。深々とそんな事を思いつつ、今だにカナダからの時差ぼけは治っておらず、イギリスに到着してから一週間程は、午後4時には眠くなり、そして午前4時には目が覚めるという不思議な体内時計で過ごしました。



やはり雨が多いです。



カンブリアでは  
こちらの小学校で叩きました。

襲いくる睡魔にもめげず、最初に向かう目的地はカンブリアです。カンブリアはイギリスで三番目に大きな州であり、アイルランドとの国境に位置しています。そちらにはワークショップの為に伺わせて頂きました。ワークショップには地元の太鼓グループの方もいらっしゃれば、「車で3時間かけて来ましたー！」という方もおられ、元気溢れる方々と共に【ぶちあわせ太鼓】を叩きました。この曲には、独特な掛け声の応酬があります。それは2グループに別れて「どっこいどっこいどっこいどっこい！！」とだんだん大きくしながら声を掛け合うというものです。1グループ目は100%の力で声を出し！2グループ目はそれを超える声を出し！！また1グループ目は

更にそれを越える声を出し！！！！2グループ目はもうそれはそれは信じられない程の声を出す！！！！という、とても楽しいパートとなっております。私もこのパートが大好きです。この日も勿論このパートを何回も繰り返して練習しましたが、最後の方にはもはや掛け声が「どっこい」ではなくなってしまうほど、皆で全部出し切りました。



ワークショップの皆さん、汗だくです。



ノーストートンは青空が綺麗でした。

コ...」と、つついリズムを刻んでしまいます。ですのでTOKARAの事を知っている方に「開けなくても誰が来たかわかるよ。」と笑って言われるほどでした。

ワークショップを終えた私達は、次なる目的地、ノーストートンへと向かいます。ノーストートンは小さな町に牧場が広がっていて、羊や牛の鳴き声が聞こえるとてもどかな所です。こちらでは太鼓台の調整とトレーニングを致しました。やはり基礎が大切ですから、基礎練習を徹底的に積み重ね、演奏曲のタイミングの練習と体力トレーニング...と、今一度じっくり太鼓と向き合う機会となりました。太鼓漬けの毎日を過ごしている私達は、ドアをノックする時も「トントン」ではなく「トットコトットコトット



緩まないようにしっかりと組みます。



5月のイギリスで雪が降りました。

ノーストーンでの濃密な練習を終えた私達は、フェリーへと乗り込み、今度は国を超えてアイルランドのダブリンという都市へと向かいます。ダブリンは海の隣に面していて、海岸近くの景色がとても美しい素敵な所です。また、アイルランドの全人口の3分の1が集中している国内最大の都市でもあります。そちらにはワークショップの為、伺わせて頂きました。

ワークショップは全部で3日間あるミニブートキャンプ形式で行われました。初日は皆の自己紹介から始まり、締め太鼓と呼ばれる小さな太鼓を締め、打ち込みを行い、皆で【秩父屋台囃子】を叩きました。この曲はなんと座り込んで叩きます。なのでこの曲には強靱な腹筋と気合いと根性が必要です。普段の生活ではまるで使わない筋肉をたくさん使うので「あ、歩けない！」なんて声も飛び出すほど、ハードで楽しい曲を叩いて初日は終了致しました。2日目、筋肉痛も残る中、この日の打ち込みは横面打ちと呼ばれるスタイルで打ち込みました。このスタイルは太鼓を横にして叩くスタイルで、リズムはとても



沢山のカモメが飛んでいました。



ブートキャンプの皆と一緒に晩ご飯！！

シンプルですが、腕や脚を驚く程使います。ですからこれもまた気合いと根性が必要です。打ち込みの後は皆で足腰がプルプルになりつつ、秩父屋台囃子の続きを叩き、2日目は終了しました。3日目、この日もまた横面打ちで太鼓を打ち込み、秩父屋台囃子を最後まで叩き切りました。

---

この曲には特に強く連続で叩き続ける  
[大波] というパートがあります。このパート  
は屋根を吹き飛ばすくらいの気持ちで叩くので、やはり大切なのは気合いと根性です。皆で  
全力で叩き続け、汗をかき声も出し全てを出し  
尽くして秩父屋台囃子を叩きました、その音の  
振動は充電器をプラグから落としてしまう程の  
ものでした。この胸の奥底まで響き渡る音が和  
太鼓の醍醐味ですね。

3日間のワークショップを終えた私達  
は、皆さんに別れを告げて、日本へと帰ります。  
6月では公演が待っており、日本に帰って  
からもTOKARAは爆進し続けます。その詳細は  
次のニュースレターでお伝えできるかと思いま  
す。それではまた次のニュースレターをお楽し  
みに。小野澤 貴史 著



明日を目指して、これからも  
未来へと進んでまいります。



# WADAIKO 遙 TOKARA



ENGLISH



日本語



KAZA 風 KOSHI 越  
20TH ANNIVERSARY WORLD TOUR

INADANI TAIKO DRUMMING COURSE  
伊那谷和太鼓コース

初CD「Toward the Undiscovered  
Country~未知の世界へ~」

収録曲数 8曲 収録時間 58分

リンクと試聴 [http://www.tokara.net/  
info/ttuccd-jp.html](http://www.tokara.net/info/ttuccd-jp.html)

以下にリンクして頂きますと、2012年世界ツアーの様子などがムービーや写真で  
ご覧頂けます。

[Performance Schedule](#)  
[Tokara on YouTube](#)  
[Tokara on Facebook](#)  
[Tokara on Twitter](#)

お問い合わせ

和太鼓TOKARA 395-0826長野県飯田  
市松尾水城3598 B-202

TEL/FAX: 0265-59-8768

Email: [info@tokara.net](mailto:info@tokara.net)

もしくは

[wadaiko.tokara.japan@gmail.com](mailto:wadaiko.tokara.japan@gmail.com)

ウェブサイト: [www.tokara.net](http://www.tokara.net)

これまでのニュースレターをご希望の方は

は

[Tokara Newsletter subscription site](#)

今後のワークショップ

伊那谷和太鼓コース グランドツアー  
初心者中級者向けコース

2013年6月 17 - 22 日, 24 - 29 日

初心者の方を対象に1週間の太鼓酔けのレクチャーを通して理解を深め、技術の向上を目的としています。コースでは、日本各地に伝わる和太鼓のスタイルや、リズムを学びます。また世界の太鼓のリズムや技術にも触れる機会があります。レクチャー、練習は、毎日朝10時より午後4時まで阿智村の公民館ホールにて行います。参加者は、期間中、他の太鼓施設やグループを訪れ、特別講師からレクチャーを受ける機会もあります。コース最終日に行われる「幸い下伊那和太鼓フェスティバル」のなかで、練習の成果を発表する機会があります。詳細、申込用紙などはコースウェブサイトをご覧ください。

[http://www.tokara.net/taikocamp-  
jp.html](http://www.tokara.net/taikocamp-jp.html)

皆様のご声援 本当にありがとうございます。  
TOKARAメンバー一同、ますます  
精進 して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。  
和太鼓アーティスト  
アート・リー